

～院長コラム～

『麻黄附子細辛湯を飲む』

冷えてきたので、麻黄附子細辛湯（まおうぶしさいしんとう）を希望される方が増えました。

3週間前からは、当帰四逆加呉茱萸生姜湯（とうきしぎやくかごしゅゆしょうきょうとう）の希望も増えました。

冷え用の漢方薬のツートップです（うちのクリニックで）。

次に、当帰芍薬散（とうきしゃくやくさん）でしょうか。

麻黄附子細辛湯は、麻黄、附子、細辛と3つの生薬で構成されています。

冷えている方で、ちょっとカゼをひいた、ノドが痛い、鼻水が出る程度なら、白湯で飲むとスッと治ることがあります。

その経験をした人はリピートされます。

先日、40代女性で麻黄が胃に障ってダメだった、飲めなかった、という方がありました。

この漢方薬は麻黄の量が多く入っていますが、この3つの組み合わせの妙で、胃に障るとい訴えは意外に少ないです。

ダメだという方には、すぐに内服を中止してもらいます。

他の方剤に変更できるなら変えてみます。

春先から始まるスギ花粉症に、この麻黄附子細辛湯だけで対応をしている女性がいます。

これだけで大丈夫、さらにカラダもポツと温まります。

大人の男性の冷え症の方で、麻黄附子細辛湯を飲む方が増えています。

「こども健康ネットブログ」より



こども健康ネット
ブログ
QRコード



なかしまこども
クリニック
公式LINE



FUKUSUKE
チャンネル
YouTube

なかしまこどもクリニック



通信

2024年1月号

なかしまこどもクリニック 瑞穂市十九条(パロー北)

ホームページ www.n-kodomo.com

診療時間		月	火	水	木	金	土	日
午前	8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	
午後	14:00~15:00		△		★	△		
	16:00~18:30	○	○			○		

★:漢方外来 14:00~17:30 受付 △:乳幼児健診及び予防接種



TEL:058-327-3100

2015年5月11日～
診察・予防接種
インターネット予約
QRコード

